



INDEX

月々短歌 p2

連作

「麻雀と君」中山俊一 p4

「夕方アレルギー」小暮朱 p8

しりとり短歌 p12

著者情報 p13

月々短歌

夏生まれ夏死す蝉と若き詩人山田かまちの手の振り方は

ク
ー
ラ
ー
に
そ
よ
ぐ
後
れ
毛
蜘蛛
の
糸
「
か
み
さ
ま
」
あ
つ
い
あ
つ
い
し
ち
が
つ

麻雀とキミ

中山俊一

「裏ドラはいらない君をツモりたいザンクの恋ならあがり放棄じゃ！」

糞配牌ゴミ手で上がってぼくたちは来世に夢を託したりする

雀荘の重い扉を開くとき朝焼け場代負けの人生

朝焼けを赤ウーピンに例えればツモれぬ光ばかりじゃないか

「もう麻雀やめようシラフじゃ語れない夢もやめよう色々やめよう」

銘柄の違う煙草が灰皿に溜まっている朝さよなら昨日

ピーターパンシンドロームの鮭がいるこんなに脂がのってしまっ

満ち欠けてゆくから月は美しい安いドラマを笑ってみてた

生活を送ると云いて鼻を掻き7月きみは宇都宮へ行く

「餃子屋になる」「餃子屋をなめるなよ」云い合いてただ麦酒を呷る

キッチンがこわい調味料がこわい生活感が襲ってきてる

「最後だし終電までは付き合えよ」新宿ZOOは今日も朝焼け

皆が皆、皆のサイドストーリー君はひとりで列車に乗った

友引の夕暮れざざんしいざざん啞蝉の烈しい鳴き声を聴く

夕方アレルギー

小暮朱

すんぜんのとこで許されるためだけにここにいる只うなずくために

胃もたれを抱えたまままで手をとった夏のつがいの祝福として

夕方のアレルギーだから「時」時はさぼっていなよと夜が囁く

あの娘にもスキャンダラスだったのに最寄りの駅のトイレが不潔

エンディングテーマ吹き荒れるただ歩く死ねいつの日か滞りなく

先生の先生ゆえんのかなしみが零れての時間目ふやけてく

自殺した女子の手記ばかり読んでいる風のクロール酷く苦しい

地方都市ださいジャージを翻し車道を駆ける少女らが愛

花占い引き千切られた花びらを拾ってくような恋ひい、ふう、み

脱獄モノに一人はでてくるおちゃらけた囚人風味横縞の君

見ず知らずのちいちゃいばあちゃんから愛が注がれ犯されアタシは泣いた

枯れ葉っぱじゃないよ声を掛けるよに骸をぱらり揺らすかまきり

へび模様打ち水きみは乾いてく掴めなかったセーラーの襟

DATE

8月

TITLE

しりとり短歌

中山

イカロスの水死体が空の青海のあをにも染まずただよふ

小暮

ただよふもしずおもきつと同じことささくれなんてそつと雀つて

中山

雀つてとんぼに火をつけるアカキツネ貴様の出番は恋の終わりに

小暮


終わりには有効成分混ぜ合わすきすしてさいきょーになるって決まり

中山

決まり手は君の寝言だ「壊れてる」全面白きオセロ盤とは

トルコの飴玉 vol.5

発行日 平成 27 年 8 月 15 日

 Turkish_candy_



短歌

中山 俊一

 poseidon_29

小暮 朱

 lululu114